

2015年3月に特定した
マテリアリティ

		Basic	Middle	High	
↑ ステークホルダーにとっての重要度	High	<ul style="list-style-type: none"> ■雇用及び雇用関係 ■職場における人材育成及び訓練 ■責任ある政治的関与 ■公正な競争 	<ul style="list-style-type: none"> ■企業統治 ■労働における基本的原則及び権利 ■社会対話 ■労働における安全衛生 ■汚職防止 ■消費者の安全衛生の保護 ■消費者データ保護及びプライバシー 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権デューディリジェンス ■サプライチェーンにおける社会的責任の推進 ■汚染の予防(環境) ■持続可能な資源の利用(環境) ■気候変動の緩和及び気候変動への適応(環境) 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権の尊重 ■サプライチェーンCSRの推進 ■環境経営
	Middle	<ul style="list-style-type: none"> ■苦情解決(人権) ■労働条件及び社会的保護 ■持続可能な消費 ■雇用創出及び技能開発 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権に関する危機的状況 ■差別及び社会的弱者(人権) ■消費者に対するサービス、支援、苦情及び紛争の解決 ■コミュニティへの参画 ■環境保護、生物多様性、及び自然生息地の回復 ■公正なマーケティング、事実に基づいた偏りのない情報、及び公正な契約慣行 	<ul style="list-style-type: none"> ■加担の回避(人権) 	
	Basic	<ul style="list-style-type: none"> ■市民的及び政治的権利 ■経済的、社会的及び文化的権利 ■必要不可欠なサービスへのアクセス ■教育及び意識向上(消費者課題) ■教育及び文化(コミュニティ発展) ■技術の開発及び技術へのアクセス(コミュニティ発展) ■富及び所得の創出(コミュニティ発展) ■健康(コミュニティ発展) ■社会的投資(コミュニティ発展) 	<ul style="list-style-type: none"> ■財産権の尊重 		
		→ 東芝グループにとっての重要度			

↑
ステークホルダーにとっての重要度

→

評価の視点

- ステークホルダーからの意見
- NGOなどの関心事
- 国際的なガイドライン、業界の行動規範
- 投資家、SRIなどからの評価

↑
東芝グループにとっての重要度

→

評価の視点

- 東芝グループの経営戦略との関連
- グローバルな事業展開との関連
- 東芝グループの取り組み状況